

≪「食物アレルギー個別支援プラン」について≫

下記参考様式「食物アレルギー個別支援プラン」を参考に、各学校の実情に合わせて作成してください。

「食物アレルギー個別支援プラン」は、個々の児童生徒に対して必要な取り組みを学校の実情に即して行うために、学校が立案し保護者と協議し決定するもので、以下の内容が含まれるものと考えられます。

- (1) アレルギー疾患のある児童生徒への取り組みに対する学校の考え方
- (2) 取り組み実践までのながれ
- (3) 緊急時の対応体制
- (4) 個人情報の管理及び教職員の役割分担
- (5) 具体的取り組み内容（個々の児童生徒で異なる内容）

上記の(1)～(4)は学校ごとに決定される内容、(5)は学校生活管理指導表に基づき個々の児童生徒ごとに作成される内容です。「食物アレルギー個別支援プラン」は各学校の実情に合わせて作成してください。

【参考様式】

様式例 4

### 食物アレルギー個別支援プラン（案・決定）

記入日 平成 年 月 日  
 協議日 平成 年 月 日

学年・組	氏名	性別	生年月日	保護者氏名
年 組		男・女	平成 年 月 日	

I. 原因食物（様式〇 生活管理指導表より該当するものに〇印をつける）

鶏卵	牛乳・乳製品	小麦	そば	ピーナッツ	糧実類・木の实類（ ）
甲殻類（エビ・カニ）	果物類	魚類	肉類	その他1（ ）	その他2（ ）

II. 食物アレルギー病型（様式〇 生活管理指導表より該当するものに〇印をつける）

即時型	口腔アレルギー症候群	食物依存性運動誘発アナフィラキシー
-----	------------	-------------------

III. アナフィラキシー病型（様式〇 生活管理指導表より該当するものに〇印をつける）

食物によるアナフィラキシー	食物依存性運動誘発アナフィラキシー	その他
原因食物	原因食物	原因

	チェック項目	具体的な配慮と対応
	学校給食	給食の選択について 除去する薬品や内容について
校外での配慮	食物・食材を扱う活動、授業	重量の取扱・接触による発症防止について
	運動（体育・部活動など）	運動誘発性アレルギー 食物依存性運動誘発アナフィラキシー
	宿泊を伴う校外活動	事前に確認すること 持参薬について
	緊急時に備えての持参薬やエビベン <sup>®</sup> について	保管方法
	エビベン <sup>®</sup> （有・無）	保管場所

緊急時の対応について

注意すべき症状	左記の症状の対応手順	病院・主治医 医療機関名・診療科名
①	①	主治医名 電話番号
②	②	
③	③	

緊急連絡先

優先順位	氏名	続柄	電話番号	特記事項
1			自宅・職場・携帯	
2			自宅・職場・携帯	
3			自宅・職場・携帯	

確認者	校長	教頭	担任	養護教諭	栄養教諭 学校医		
印							

②下記の対応案を作成し、「食物アレルギー対応委員会」で検討。その後保護者と面談し、共通理解した上で、保護者が押印し決定する。

①担当者が保護者面談等により、配慮事項を詳細に把握し、可能な対応案を具体的に記入する。

③通院している医療機関を記入。緊急時の搬送先は救急隊へ一任する事を保護者へ説明。

④保護者押印後、校内関係者（適宜設定）が確認。